

ネットワークサービスシステム開発論文特集の発行にあたって



ネットワークサービスシステム開発論文特集編集委員会

委員長 戸出 英樹

一般に様々な製品・システムが開発され庶民に広く親しまれるまでには、研究フェーズに加えて実用化、更には洗練化のフェーズが存在する。ネットワークサービスシステムについてもほかに違わずこれらの各フェーズは重要であり、ノウハウ、アイデア、創意工夫を埋め込んだほかにまねのできないものを世に出す必要がある。現在のネットワークサービスシステムは、鉄道システムや道路交通システム、水道システムなどと同様、大規模で複雑な社会基盤の一つであり、先人たちのたゆまぬ努力の継続により発展し、今もなお急速に進化している。現在、製品・技術のコモディティ化が進み、日本の各種メーカーが苦戦を強いられている局面が多いが、今後は、単体としての製品や要素技術ではなく、それらを含むハード、ソフト、制御系、保守・管理系を統合的にとらえた高信頼なパッケージとしてのシステムを開発し提供することが重要である。これが将来の「ジャパンウェイ」につながり、日本が世界を先導するための新たなシフトチェンジに向けての鍵になると考えている。

さて、実用的なネットワークサービスシステムを構築するためには、使用する機器・アーキテクチャ・要素技術の適切な選定や、基礎となる理論の適用・確立、更にはそれらの最適な組み合わせの実現が必要となる。また、開発システムの評価方法や実験環境の決定、

実運用に向けた詳細な検討なども重要である。本特集号では、上記システム開発で得られた知見・ノウハウを発掘・共有するとともに、研究開発の更なる活性化・体系化を図ることを目的とし、ネットワークシステム研究専門委員会（NS研）が中心となって、ネットワークサービスシステム及び関連するソフトウェアの開発に関する本特集を企画した。

本特集には、合計18編の論文が投稿され、厳正な査読の結果、最終的に7編の論文が採択された。システム開発論文ということもあり、結果的に産業界からの論文の採択比率が高くなっている。更に、最前線で活躍されている研究・開発者の方々により、3編の魅力的で示唆に富んだ招待論文をご執筆頂いた。

最後に、本特集を発行するにあたり、ご投稿頂いた著者の皆様、査読にご協力頂いた査読委員の皆様、企画及び編集作業に御尽力頂いた編集幹事・編集委員各位、並びに本会事務局の皆様深く感謝する。

戸出 英樹（正員：シニア会員） 昭63阪大・工・通信卒。平2阪大大学院修士課程了。平3同博士課程退学後、工・通信・助手。平10阪大・工・情報システム・講師。平11同助教授。平14阪大・情報科学・助教授。平19同准教授。平20阪府大・工・電気・情報系専攻教授。現在に至る。次世代の超高速インターネットや将来の全光ネットワークを対象としたトラフィック制御、高速交換、経路選択技術、並びに、コンテンツ配信関連技術に関する研究に従事。工博。

ネットワークサービスシステム開発論文特集編集委員会

委員長	戸出 英樹
幹事	橘 拓至・小川 猛志
委員	荒川 豊・上 豊樹・小川 剛史・奥谷 武則
	川手 竜介・小頭 秀行・塚本 和也・水野 修
	山垣 則夫